

## 第5節 環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」

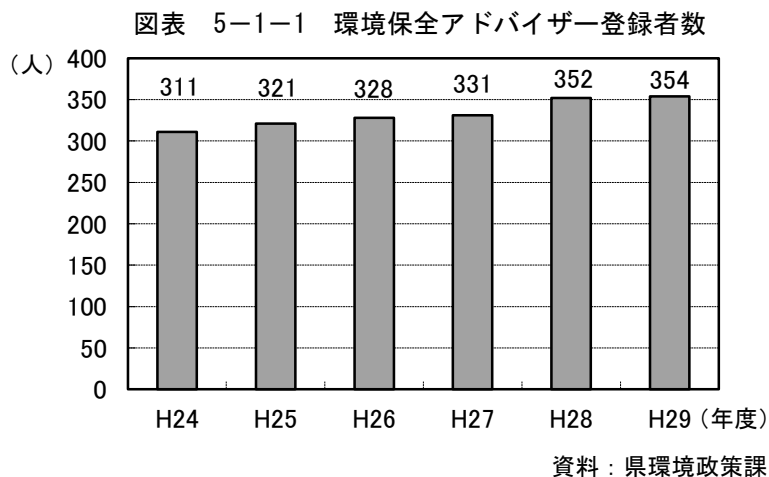
### 第1款 環境学習・環境活動の推進

#### 【現状と課題】

社会のあらゆる場において、総合的で実践を伴う環境学習が適切かつ活発になされるよう、学校教育や社会教育での環境学習に関する取組の充実、そのための指導者の育成、拠点整備などを行う必要があります。

平成29年の学習指導要領の改訂でも、「環境に関する教育」を「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」の一つに掲げています。また、幼児教育の段階から、発達の段階に応じて自然体験活動など体験活動の推進を図り、環境の保全やより良い環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力の育成を目指しています。平成27年度公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査によると、社会や理科などでの学習に加え、総合的な学習の時間での環境をテーマとした学習が、約88%の公立小学校と約29%の公立中学校で実施されています。

県では、教職員を対象にした環境教育研修の実施や教材・プログラムの作成支援・提供を行うなど、学校における環境学習の支援を行うとともに、県民の自主的な環境保全活動に対し、適切な指導、助言を行うことができる「環境保全アドバイザー」<sup>1</sup>等を育成しています。



環境保全行動に対する県民の意識は年々高まっているものの、実際の行動にはまだ十分に結びついていない状況にあり、日常における県民の自主的かつ積極的な取組を促進する必要があります。

県では、県民の自主的な環境保全活動を促進し参加機会の拡大を図るため、各地で行われている取組に関する情報提供を行うとともに、地域で緑化活動や美化活動などを行っている団体等の活動支援、環境学習講師の派遣などによる環境保全活動の拡大に向けた支援を行っていますが、今後、一層の充実を図る必要があります。

また、県民一人ひとりが、環境への負荷の少ないライフスタイルのあり方や自然の大切さに対する理解と認識を深めるため、「環境の日」ひろしま大会等を通じた環境保全思想の普及啓発に取り組んでおり、引き続き、様々な機会を通じた普及啓発を推進するとともに、県民が自主的に環境に配慮した生活・行動を選択・実行できるよう、環境保全行動等に関するさまざまな情報を各種媒体によって総合的に提供していく必要があります。

<sup>1</sup> 環境保全アドバイザー：地域で行われる環境学習や環境保全活動について、助言・指導を行うことができる人材。県が実施または認定する養成講座を修了した者や地球温暖化防止活動推進員のうち、希望者をアドバイザーとして登録し、地域での活動を促している（※県の独自制度で平成6年度から実施）。

【環境の状態等を測る指標・環境施策の成果を示す指標】

担当課	指標項目（内容）	単位	基準年度値 (H26)	現状値 (H29)	目標値 (目標年度)	目安※1	指標の 達成率	進捗 状況
環境保全課	県環境情報サイト「エコひろしま」アクセス件数	千件	898	607	増加を図る(H32)	898	67.6%	未達成
環境政策課	環境学習講師の派遣者数	人/年	10	22		10	220.0%	目標以上達成
環境政策課	環境活動リーダー養成者数（累計）	人	10	119	100 (H32)	55	216.4%	目標以上達成
環境保全課	せとうち海援隊認定団体数	団体	32	36	新規認定 年1団体 以上	35	102.9%	目標どおり達成

※1 目安は、目標値を現状で達成すべき水準に按分した数値

＜未達成の項目の要因と今後の対応方針＞

指標項目（内容）	目標と実績の乖離要因	今後の対応方針
県環境情報サイト「エコひろしま」アクセス件数	内容が環境関連事業者向けの申請等のページが多く、話題性のある情報発信が不足しているため、アクセス件数が減少している。	家庭における省エネ行動促進など、身近なテーマの情報を追加していく等により、県民からのアクセス件数の増加を図る。

1 環境学習と啓発活動の推進

【取組状況】

(1) 環境学習の推進

ア 環境学習講師派遣（環境保全活動支援事業） [環境政策課]

学校、自治会等が実施する環境学習会に、県が登録した専門的知識を有する講師を派遣しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】平成29年度は22人を派遣。

＜環境学習講師の派遣者数＞

指標項目	H26	H27	H28	H29
派遣者数（人）	10	17	17	22

イ 県立広島大学での教育 [大学教育振興担当]

環境教育に関する科目をカリキュラムに取り入れることにより、持続可能な社会の構築と良好な生存環境の保全に取り組むことができる人材の育成を行っています。1年次の環境科学概論は、環境科学科及び生命科学科のほとんどの学生が履修しており、地球環境とその保全及び社会環境（個人・地域社会・日本・世界）の取組など、循環型社会を担う教養を身につけることができます。

【平成29年度実績】環境問題に対して深い関心と理解を持って積極的に取り組み、環境浄化材料開発分野で活躍できる人材や、環境計画・環境修復などの分野で活躍できる人材の育成を目指し、環境に関する授業科目を開講。また、環境関係の資格取得支援を行い、ECO検定の試験に140名が受験し、130名が合格（合格率93.8%は全国平均の73.0%を大きく上回る）。さらに、環境測定分析士の試験に21名が受験し、17名が合格するなど、高水準の合格率（81.0%）を達成。

【平成30年度内容】平成29年度に引き続き、環境に関する授業科目を開講し、持続可能な社会の構築に対して深い関心と理解を持って積極的に取り組み、循環型の環境材料・技術の開発分野で活躍できる人材や、環境計画・環境修復などの良好な環境を創出する分野で活躍できる人材の育成を目指す。

ウ 少年少女水産教室の開催支援 [水産課]

小学校高学年を中心に、稚魚の放流など栽培漁業の体験学習を実施し、漁業への理解を深めるとともに、資源の大切さを啓発しています。

【平成 29 年度実績】三原市立三原小学校、幸崎小学校、尾道市立浦崎小学校等で、漁協等が開催した水産教室を計 9 回支援。

【平成 30 年度内容】計 9 回の支援を予定。

エ グリーン・ツーリズムの推進 [販売・連携推進課]

農山漁村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動であるグリーン・ツーリズムは、自然環境や資源の大切さを考える機会となるため、その活動を支援しています。

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】体験施設や宿泊施設の情報をホームページにより提供。

オ 緑化研修及び緑化指導相談 [森林保全課]

県民をはじめボランティア団体や企業の緑化担当者を対象に緑化に必要な知識、技術の研修を行うとともに、県内の小学校を対象に「緑の学校」を開校し、学校に出向いて緑化研修や自然体験学習を行うことで緑化意識の普及啓発を進めています。さらに、みどりについての健康診断や病虫害防除等の緑化相談等を実施し、緑化技術の向上を図っています。

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】平成 29 年度は緑化研修 52 回、緑の学校 23 回、緑化相談 494 件を実施。

カ 指導指針の提示 [義務教育指導課]

学校における環境教育が適切に実施されるように、広島県教育資料や教育委員会のホームページ等に指導指針を提示しています。

【平成 29 年度実績】平成 30 年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の候補者として、全校生徒・教職員・PTA・森林組合・地域が連携して、校内外の美化活動や緑化・育樹活動に積極的に取り組んでいる東広島市立豊栄中学校を推薦。

【平成 30 年度内容】「環境教育指導資料 幼稚園・小学校編」及び「環境教育指導資料 中学校編」(国立教育政策研究所教育課程センター編集)を学校に周知し、持続可能な社会の創り手を育成する観点から総合的な学習の時間等での取組を支援するとともに、県内の他の先進事例を教育委員会のホームページ等で引き続き紹介。

キ 教員研修の推進 [教職員課・義務教育指導課]

児童生徒の発達段階に応じ、地域の特色を活かした学校独自の学習プログラムを創造することができるよう、様々な研修機会をとらえ、教員の環境に関する専門的な知識や技能の向上を図っています。

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】初任者を対象に、環境教育をテーマとした講座を実施。

ク 自然環境教育支援プログラムの開発・提供 [生涯学習課]

福山少年自然の家では、学校等の自然環境教育を支援・推進し、次代を担う子供たちに、環境の大切さや、かけがえのない生命の営みを学習していくプログラムを開発・提供しています。また、教育企画事業では、小学生を対象とした自然との触れ合いを通して好奇心や感性を育む、参加体験型の事業を実施しています。

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】これまで開発した自然観察プログラムの活用及び普及を行うとともに、指導者育成・啓発のために教員等を対象とした体験活動指導者研修を実施。

※ 関連事業：せとうち海援隊支援事業（P88）、環境月間行事の実施（P94）

## （2）啓発活動の推進

### ア 環境講演会の開催 [環境政策課]

ひろしま地球環境フォーラム等との共催により、地球環境等に関する講演会を開催しています。

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】環境問題やエネルギー等をテーマとした講演会を開催。

### イ ひろしま環境賞 [環境政策課]

環境保全活動への意欲を高めるため、地域において先覚的・独創的な環境保全活動等に積極的に取り組み、環境にやさしい地域づくりに顕著な功績のあった個人・団体に対し、その功績を称えて表彰しています。

#### 【平成 29 年度実績】

〈受賞者〉

- 今岡 務（東広島市）
- 谷山 誠（庄原市）
- 江田島市立切串小学校（江田島市）
- 布野の食と脱温暖化を考える会（三次市）

#### 【平成 30 年度内容】

〈受賞者及び活動内容〉

- 尾道市立高見小学校（尾道市）  
地域環境を活かし、家庭や複数の地域組織の支援を受けて、海、川、森の複数分野に渡る組織的・系統的・継続的な環境学習を行うほか、保護者や地域とともに平成 12 年から海岸や山の清掃活動を継続。
- 安芸高田市立川根小学校（安芸高田市）  
昭和 59 年から長年に渡り、保護者や地域の協力を得ながら、炭焼き窯に隣接する山小屋に泊まり込んでの「炭焼き合宿」や作った炭の販売など、かつての地域の主産業であった「炭焼き」を通じた環境学習を継続。
- 折出 幸二（安芸郡坂町）  
業界団体の役員として長年に渡り、産業廃棄物適正処理の推進や産業廃棄物処理業者の育成に取り組むほか、行政と連携して、不法投棄廃棄物の撤去や環境イベントでの啓発活動などを継続し、地域環境保全に貢献。
- 山本 健一（広島市安佐北区）  
業界団体の役員として長年に渡り、地域の環境衛生行政に積極的に協力し、合併浄化槽への転換や浄化槽の適正な維持管理の推進に取り組むほか、平成 26 年に発生した広島市土砂災害で被災地の浄化槽等の復旧に尽力し、水環境保全に貢献。

### ウ こどもエコクラブの支援 [環境政策課]

幼児から高校生までのこどもが自主的に環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」について、地域環境に関する具体的な取組・活動が展開できるよう、市町の協力を得て、支援情報を提供しています。

2 ひろしま地球環境フォーラム：広島県の県民、団体、事業者、行政が相互に連携・協働しながら、環境にやさしい地域づくりを進める環境保全推進組織。

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】平成 29 年度は、41 団体のこどもエコクラブのメンバー1,057 人による活動を実施。平成 30 年度も、こどもエコクラブへの適切な情報提供に努めるなど、活動の活発化を推進。

エ 環境月間行事の実施 [環境政策課]

県民の環境保全についての理解・関心や積極的な環境保全活動への意欲を高めるため、6月5日の「環境の日」<sup>3</sup>及び6月の「環境月間」<sup>3</sup>を通じて、国、市町、団体等の協力のもと、各種事業を実施しています。

≪「環境の日」ひろしま大会≫

【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】

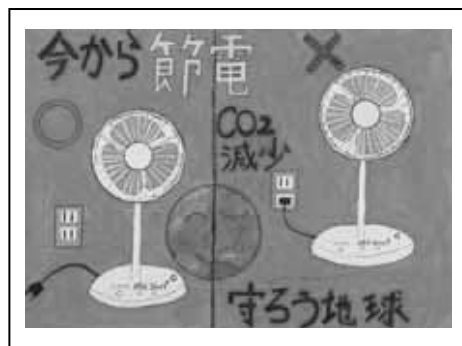
区分	開催日時	開催場所	参加者
平成 29 年度	平成 29 年 6 月 4 日 (日) 10:00~15:30	広島県庁前広場ほか	県民・団体・事業者等
平成 30 年度	平成 30 年 6 月 3 日 (日) 10:00~15:30	広島県庁前広場ほか	県民・団体・事業者等

≪環境月間ポスター≫

子供たちに、ポスターの作成を通して環境への関心と環境保全についての理解・認識を深めてもらうため、環境月間ポスターを募集しています。

【平成 29 年度実績】応募数：小学生の部 591 点，中学生の部 145 点，高校生の部 73 点。

【平成 30 年度内容】応募数：小学生の部 543 点，中学生の部 126 点，高校生の部 62 点。



小学生の部 特選  
「今から節電 守ろう地球」  
東広島市立入野小学校 6年 源 陽希



中学生の部 特選  
「冷暖房に頼り過ぎない衣服の着かたしてますか?」  
安田女子中学校 1年 脇田 友加



高校生の部 特選  
「伝統ってエコだ」  
広島県立熊野高等学校 2年 迫田 佳成汰

3 環境の日、環境月間：1972年6月、国連人間環境会議がスウェーデンのストックホルムで開催され、「人間環境宣言」が採択された。国連では、この会議を記念して毎年6月5日を「世界環境デー」としている。我が国では、環境基本法において6月5日を「環境の日」と定め、また6月を「環境月間」として、事業者及び国民の環境保全についての関心と理解を深めるとともに、環境保全に関する活動を積極的に行う意欲を高めるための各種事業を実施している。

オ 「エコひろしま」の運営 [環境保全課]

県民・事業者等による環境配慮への自主的な取組を促進するため、県環境情報サイト「エコひろしま」を通じた環境情報の発信を行っています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】「エコひろしま」(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/>)を運営し、迅速で分かりやすい環境情報を発信。

2 自主的な環境活動を行う人づくり・仕組みづくり

【取組状況】

(1) リーダー人材の育成

ア 環境学習指導者専門研修 [環境政策課]

児童・生徒等を対象とした環境学習会をより効果的に実施するため、環境教育の実践者や、その支援者等を受講対象とし、里山フィールドによる実践交流会を通して、お互いの経験から学び合い、指導技術を高め合うスキルアップ研修を実施しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】学校や地域において環境教育を実践している・実践しようとしている方等を対象とし、平成29年度は、2泊3日の研修を実施し16人が受講。

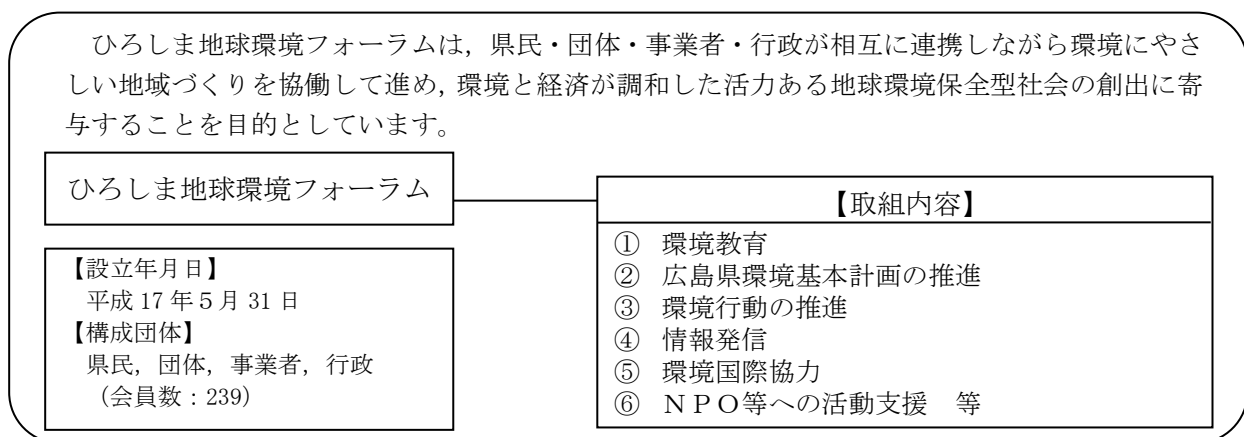
(2) 自主的な環境活動を行う仕組みづくり

ア ひろしま地球環境フォーラムの支援 [環境政策課]

県民、団体、事業者、行政の231会員(平成30年5月末)で組織する「ひろしま地球環境フォーラム」が実施する環境講演会等の環境保全事業に対して、県は事務局として支援しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】事務局として、各種事業の共同実施、情報提供等の活動を支援。

図表 5-1-2 ひろしま地球環境フォーラムの概要



イ 大学間ネットワークの活用 [環境政策課]

大学生と教員が専門的な知識及び行動力を結集し、大学の枠を越えて設立した「大学環境ネットワーク協議会(UE-net:ゆいねっと)」による地域における環境保全活動及び環境学習の取組を推進しています。

【平成29年度実績・平成30年度内容】「大学環境ネットワーク協議会(UE-net:ゆいねっと)」による環境イベント等の企画運営や環境学習教材を利用した活動を支援。

ウ ひろしまアダプト活動<sup>4</sup>支援事業（マイロードシステム・ラブリバー制度） [道路河川管理課]

県の管理する道路・河川において、道路や河川敷の清掃、緑化、除草などを行う団体をアダプト活動認定団体（マイロード認定団体・ラブリバー認定団体）として認定し、表示板の設置や保険への加入のほか、活動費の一部を奨励金として交付するなど、その活動を支援しています。

**【平成 29 年度実績】** マイロード認定団体は、新たに 31（総計 650）の団体を認定し、21,282 人の参加を得て延長 591.69km の道路清掃等を実施。

ラブリバー認定団体は、新たに 24（総計 368）団体を認定し、14,134 人の参加を得て 263.9km の河川清掃等を実施。

**【平成 30 年度内容】** アダプト活動の拡大・充実を図るため、奨励金交付事業を継続し、団体への積極的な支援を実施。

エ 河川清掃等業務委託事業 [道路河川管理課]

県が管理する河川において、県民の河川愛護意識の普及・向上を図るとともに、良好な河川環境を保持するため、清掃業務等を市町を通じて住民団体に委託し、清掃活動等を行う住民団体を支援しています。

**【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】** 清掃活動等を実施。平成 29 年度は 315 団体で実施。

オ 河川清掃「クリーン太田川」 [道路河川管理課]

太田川流域の河川において、「クリーン太田川実行委員会」の主催により清掃を実施しており、県も河川管理者として積極的に参加し、清掃活動を行う住民団体等を支援しています。

**【平成 29 年度実績・平成 30 年度内容】** 約 18,000 人が参加し、清掃活動を実施。

※ 関連事業：県民運動の支援（P14）、せとうち海援隊支援事業（P88）

---

<sup>4</sup> アダプト活動：アダプトが「養子縁組をする」という趣旨から、住民等が主体となって清掃・草刈等を中心に、公共空間をわが子のように面倒をみていく活動。